

# 第1章 はじめに

## 1. 経営戦略改定の背景と目的

鹿沼市(以下、「本市」という)の下水道事業は、昭和47年4月に整備に着手し、昭和51年6月より供用を開始しました。その後、人口増加や生活水準の向上に伴い、市民の衛生的な暮らしを支えるため整備を進めてきたところです。

しかし、人口減少や少子高齢化、頻発する自然災害への備えなど、下水道事業を取り巻く環境は大きく変化し転換期を迎えています。

このような社会情勢の変化に対応し、市民生活に不可欠な下水道事業を将来にわたって安定的に継続していくため、令和2年4月より地方公営企業法を適用し経営状況の透明性の向上を図るとともに、令和4年3月には、安全・安心な下水道事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画である「鹿沼市下水道事業経営戦略(以下「本経営戦略」という。)を策定し、事業を推進してきました。

現在、策定から4年が経過し、新型コロナウイルス感染症の影響や、社会情勢の変化に伴う物価高騰などの新たな要因に加え、他自治体で発生した下水道管の老朽化に起因する大規模な事故により下水道インフラに対する重要性も高まっています。

また、今後、本市においても、老朽管の増加や処理施設の更新に多額の費用が見込まれることから、改めて投資と財源のバランスを分析し、将来にわたり安定的かつ持続可能な下水道サービスを提供するため、今般、「鹿沼市下水道事業経営戦略(令和8年度改定版)」として改定を行うこととしました。

## 2. 計画期間について

中長期的な視点から経営基盤の強化等に取り組むことができるよう、本経営戦略の計画期間は、新たに令和8年度から令和17年度までの10年間とします。

計画期間中は、事業の進捗状況の点検・評価を毎年度行い、策定から5年後を目途に見直しを行います。

図1 経営戦略計画期間

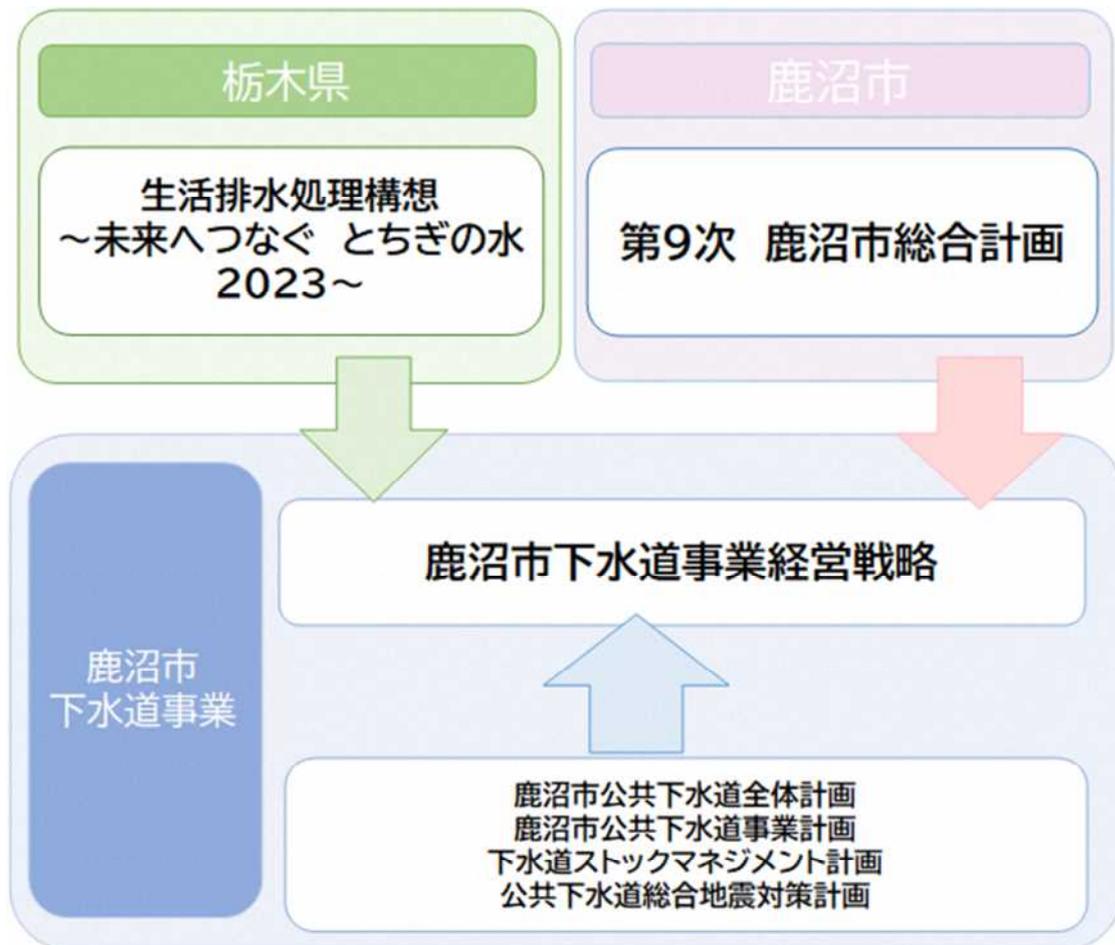
年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度
経営戦略	前回策定				今回改定									
	公表			見直し	公表				見直し	公表				見直し

### 3. 本経営戦略の位置付け

本市下水道事業の主な施策は、最上位計画である「第9次鹿沼市総合計画」に基づいており、本経営戦略は、総合計画に掲げる本市の将来都市像を実現するための経営計画として位置付けています。

なお、本経営戦略においても、他の最新の施策・計画等との整合を図ります。

図2 本経営戦略の位置づけ



※ストックマネジメント計画・・・長期的な視点で下水道施設全体の老朽化状況を把握し、優先度を考慮しながら施設の点検・調査や修繕・改築を実施することで、施設管理を計画的・効率的に行うための計画です。

## 4. 経営戦略の要旨

本経営戦略では、下水道資産の現状分析を基にした長期的な需要の見通しや更新等の投資計画を踏まえ、これらの中で経営の悪化が想定される場合には、使用料改定時期の検討を含み、中長期的な経営方針を定め、新たな「投資・財政計画」を策定します。

「投資・財政計画」の策定に当たっては、「投資試算」及び「財源試算」による将来予測を行い、現時点で反映可能な経営健全化や財源確保に係る取組を踏まえて試算を行います。その上で、将来の使用料収入の減少・更新需要の増大を見据えた使用料水準の適正化、投資のあり方の見直し等を複合的に検討し、具体的なシミュレーションを作成します。

図3 「投資・財政計画」の策定までの流れ



総務省「経営戦略策定・改定マニュアル」より